



ふくもっちゃんの部屋 ~ブックガイド~

ブックガイドとは「本を紹介するために書かれた本」のことです。
西口ライブラリー内にブックガイドを集めたコーナーがあるのはご存知ですか？
今回はその中から3冊を選んで紹介いたします。

- ①『おすすめ文庫王国 2021』本の雑誌編集部 編/本の雑誌社(019-オススー21)
(読み応え十分! 毎年12月に発行される、文庫に特化したブックガイドです)
- ②『大人だって読みたい! 少女小説ガイド』嵯峨 景子ほか 編著/時事通信出版局(910.2-オトナ)
(王道の傑作からマニアックな作品まで、少女小説をテーマ別に紹介する1冊です)
- ③『科学を読む愉しみ』池内 了 著/洋泉社(404-イケウ)
(宇宙物理学の教授である著者が、科学書を短く分かりやすく紹介します)

ブックガイドコーナーは西口ライブラリー入ってすぐの柱にあります!
ぜひ、ご利用ください!

~~朗読会「ことのはの時間」開催のお知らせ~~
図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和3年9月11日(土)午後2時30分~3時
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です
*当日はマスクの着用をお願いいたします
*新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる場合があります

10月に歴史講座を
開催予定です。

図書館カレンダー 9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

図書館カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

印は休館日

2021年9月1日発行

編集: 福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL024-525-4023
発行: 福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL024-531-6551
ホームページ:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

2021年
9・10月号

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう!

新着本案内



『図説 明治政府』

久保田 哲 著

戎光祥出版(312-クボタ)

日本を近代国家とするために様々な政策を打ち出した明治政府。地租改正や廃藩置県など、当時の主要な政策を豊富な図と共に解説します。明治の日本が求めていた国家の姿を分かりやすく学べる一冊です。



『まぜるな危険』

高野 史緒 著

早川書房(F-タカノ)

ある計画の実行に悩む青年は、偶然異国の小説を手に入れる。それは自分の現状にあまりによく似ていて…。(「プシホロジーチェスキー・テスト」より)

ロシア文学に、日本の小説や古典作品などの世界観をミックスしたSF小説集です。



『気持ちを表すことばの辞典』

飯間 浩明 監修/ツツキ エイミ・252% 絵/ナツメ社(814-キモチ)

日本語には、同じ感情でもニュアンスの違う言葉がたくさんあります。「喜ぶ」は「有頂天」「嬉喜び」、「怒る」は「癪に障る」「憤慨する」など…。本書では、一つの感情にまつわる表現を、例文やイラストを交えて複数紹介します。



『沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う』

山松 晃太郎 著

新潮社(202-ヤマフ)

著者は、沈んだ船を調査する水中考古学者です。ドブ川での初発掘、船の3Dモデル作成、潜水と推理を重ねた船底部探索など、現場は困難とワクワクの連続で…。携わったプロジェクトと自身の来歴をたっぷり語ります。



『まるごとレモン』

河井 美歩 著

家の光協会(596-カワイ)

レモンと言えば、添え物というイメージがありますが、実は様々な料理に使える万能の食材です。果汁はもちろん、皮まで使えるレシピと便利な保存方法を伝授します。美味しく、健康にも良いレモン料理を作ってみませんか?

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

博物館の世界 栗原 祐司 著／誠文堂新光社(069-クリハ)	枝の家 黒井 千次 著／文藝春秋(F-クロイ)
宗教の本性 佐々木 閑 著／NHK出版(160-ササキ)	身もこがれつつ 周防 柳 著／中央公論新社(F-スオウ)
富士山の観察図鑑 武田 康男 文 写真／緑書房(291.5-タケダ)	長い一日 滝口 悠生 著／講談社(F-タキグ)
サボる哲学 栗原 康 著／NHK出版(304-クリハ)	源氏の白旗 武内 涼 著／実業之日本社(F-タケウ)
海獣学者、クジラを解剖する。 田島 木綿子 著／山と溪谷社(489-タジマ)	俺達の日常にはバッセンが足りない 三羽 省吾 著／双葉社(F-ミツバ)
アトピー性皮膚炎をしっかり治す本 大矢 幸弘 著／法研(494-オオヤ)	余命一年、男をかう 吉川 トリコ 著／講談社(F-ヨシカ)
基本調味料で作る5分麺 市瀬 悦子 著／主婦と生活社(596-イチセ)	シヨローの女 伊藤 比呂美 著／中央公論新社(914.6-イトウ)
ピラティス大全 菅原 順二 監修／成美堂出版(781-ピラテ)	心経 閻 連科 著 飯塚 容 訳／河出書房新社(923-イエ)
くらべてわかる英単語図鑑 牧野 高吉 著 林 ユミ 絵／主婦の友インフォス(834-マキノ)	無垢の傷痕 麻見 和史 著／双葉社(PF-アサミ)
原因において自由な物語 五十嵐 律人 著／講談社(F-イガラ)	帝都上野のトリックスター 徳永 圭 著／講談社(PF-トクナ)

ライブラリアンの

展示★名作案内



翻訳本

—海外文学の世界へ—



『ハリネズミの願い』

トーン・テレヘン 著／長山 さき 訳
新潮社(949-テレヘ)

森で孤独に暮らす臆病なハリネズミ。家に誰かを招待しようと手紙を書くが、誰も来ないのでと思うと送る勇気が出ない。想像の中で、ゾウやアリなど様々な動物を招待してみるが…。

ひとりが好きだけど寂しがり。そんなあなたへ贈る物語。



『誰が音楽をタダにした?』

スティーヴン・ウィット 著／関 美和 訳
早川書房(760-ウィツ)

画期的な音楽圧縮技術を開発したエンジニア、違法コピーを生業とする音楽海賊、野心溢れるレコード会社のCEO。CDが売れない時代の裏側には様々な人間たちの思惑があった。音楽業界激動の20年を描いたノンフィクションです。



『ヴェルヌの『八十日間世界一周』に挑む』

マシュー・グッドマン 著／金原 瑞人・井上 里 訳／柏書房(290-グツド)

1889年、2人の女性記者が、作家・ヴェルヌの予想した八十日より速く世界一周する挑戦を行った。大胆な潜入取材も辞さないネリーと、思慮深く文学を愛するエリザベス。対照的な2人は、反対ルートをとり出発する。果たして先にゴールするのは？



『図書館司書と不死の猫』

リン・トラス 著／玉木 亨 訳
東京創元社(933-トラス)

愛妻を亡くし、図書館を定年退職したわたしの元に1通のメールが届く。添付されたフォルダには、人語を話す奇妙な猫のデータが収められていた。興味をひかれたわたしは調査に乗り出す。事態は思わぬ方向へと進んでいく。



『きょうの肴なに食べよう?』

クオン・ヨソン 著／丁 海玉 訳
KADOKAWA(596-クオン)

プッチムゲや冷汁刺身、カムジャタンなど…。数多くの文学賞を受賞し、生粋の酒好きである著者による食のエッセイ。独自の感性で綴られる、知っているようで知らない、韓国料理の数々は必見です。

作家と書店

寺田寅彦は幼少期から「丸善」に憧れを抱き、仲の良い友人を尋ねるような気持ちで通っていた。特に自分の専門である科学の棚では特別な心持ちがして、それを「真面目であると同時に at home」と表現している。また、「丸善」といえば梶井基次郎の短編「檸檬」の舞台である。2005年に京都本店の一時閉店が決まった際、ストーリーにちなんで画集コーナーに檸檬を置いていく客が多くいたという。

江戸川乱歩は作家になる前、2人の弟とともに「三人書房」という古書店を開業している。3人の趣味である小説を中心に扱っていた。弟たちは古本屋で修業を積んだものの、乱歩にとっては差し当たりの生計を立てるための事業であったという。しかしこれをきっかけに編集の仕事に就き、紆余曲折を経て、作家として初めて原稿料を得たのは4年後のことだった。

参考文献:『乱歩の軌跡』平井 隆太郎 著／東京創元社 (910.2-エドガ)

『文豪聖地巡礼』朝霧 カフカ 監修／立東舎 (910.2-ブンゴ)

『寺田寅彦全隨筆 1』寺田 寅彦 著／岩波書店 (914.6-テラダ)